

## 100才がサッサと歩く足創り

人間は毎日の生き方一つでフレイル無縁で暮らせる事を姉から学びました。私はTVでのお医者さまのコメントから西洋医学や東洋医学、ネット等でエビデンスを得て私をととても可愛がってくれた20才年上の姉の為だけに 24年前に創りました。最初に履いた姉の言葉は「皆が喜ぶんじゃない」でした。其の後も履くたびに「皆がよろこぶんじゃない」が口癖でした。その姉は若い頃から胃が悪く母は「美智子(姉)は胃癌でなくなるから自分がいなくなったらあんたが面倒みてやってくれ」が口癖でした。その姉は栄養士として熊本県職員になりました。退職後は私達家族と暮らし母は85才で亡くなり短命の筈の姉は母より10年後の95才まで生きて笑顔で亡くなりました。外出はいつも家族と一緒に「足が軽い」と言って車まで小走りしていました。昔は布団の上げ下ろし・和式トイレ・一家団欒のちゃぶ台・駅やデパートの階段等で足腰は生活の中で鍛えられていました。また山登りは身体にいいといわれますが下りはふくらはぎへのダメージが大き過ぎます。下り坂そのもののかかとの有る靴を履いて足の後ろ側に負担をかけています。特に下半身に溜まり易い血液を引力に逆らって心臓に戻す大変な仕事をしている第二の心臓ふくらはぎは絶対に衰えさせてはいけません。ふくらはぎは健康のバロメーターでフレイル予防や血管内のゴミも押し流し肺や心臓は

**24時間365日100年以上働いてくれる筈です。**

**老化は脚と頭の両端から始まります。サッサと歩く姿をみて「お元気ですね」**

**とは言われない筈です。「お」はお世辞の「お」です。「元気ですね」です。**

**※私事で恐縮ですが後期高齢者の私は病院にはコロナの予防注射以外**

**50年近くお世話になっておりませんし薬やサプリメントも一切くちにしませ**

**ん。勿論サッサと歩くのは当たり前で駅やスーパーの階段は2段飛びで駆**

**け上がっています。Mother Michiko は下り坂そのもののハイヒールの逆で**

**上り坂なので「運氣も上昇し縁起の良い靴」でもあります。**

**【最後に弊社開発の Mother Michico のエピソードをご紹介します】**

**○後石原さんとおっしゃる方のお話:ある時、歩けなくなり病院初め整体や**

**鍼灸院などいきましたが何処も良かったのはその時だけでしたがこの靴**

**で歩けるようになりました…この方のお友達から聞いたのですがこの靴**

**を神様だと思われているそうです。**

**○弊社の営業の話:取次店のブティックで杖を突いてこられたお客さまに**

**此の靴を黙って 3 分位履き自分の靴をはいて立ち上がり杖を忘れて歩**

**かれたので皆で大笑いしたそうです。**

**○有名な建築家で今は亡くられましたが海外行きが多かったので飛行機**

**の中でも履いて居られたようです。**

**(株)DOOG**